

2016 干し柿シンポジウム in TOYAMA

干し柿生産の継承、柿の多様な活用、地域おこし、温暖化対策



吉水友香 画

日時：10月2日（日）午前10時30分～午後5時00分

場所：となみ散居村ミュージアム（富山県砺波市）

〒939-1368 富山県砺波市太郎丸 80 番地 ☎0763-34-7180

入場無料

シンポジウム資料：実費 500 円で頒布します。

主催：2016 干し柿シンポジウム in TOYAMA 実行委員会

共催：富山干柿出荷組合連合会、美味技術学会、タイワ精機(株)、兼八産業(株)、日本海調温(株)、富山県農村医学研究会、となみ散居村ミュージアム

後援団体：富山県、南砺市、JA なんと、JA 福光、富山県立大学、南砺市観光協会、砺波カイニヨ倶楽部、菜園イストラ 薪の音、農家イストラ 大門、なやかふえ、北日本新聞社、北陸中日新聞社、読売新聞北陸支社、NPO 富山湾を愛する会、美濃加茂市、堂上蜂屋柿振興会、JA 羽茂、富山県花卉球根農業協同組合、今庄特産柿振興会、

関連する展示会が同会場で開催されます。是非、ご覧ください

（9月20日～10月2日、但し9月28日は休館日）



北陸新幹線新高岡駅からJR城端線で17分⇒砺波駅南口⇒徒歩5分
あいの風とやま鉄道高岡駅からJR城端線で20分⇒砺波駅南口⇒徒歩20分
車の場合：北陸自動車道、砺波インターから5分

参加申込・問合せ先：実行委員会（林 節男、sehaya2529@yahoo.co.jp）
〒939-0341 富山県射水市三ヶ 2529-1 携帯 080 3743 9750、FAX 0766 56 4810

2016 干し柿シンポジウム in TOYAMA の趣旨とタイムスケジュール

開催趣旨:

日本各地の干し柿生産地では、生産者の高齢化と生産戸数の減少により、何れも生産技術の継承が大きな課題になっている。また、近年の気候変動の一つである収穫から乾燥時期の高温・多雨により、カビが発生するなど品質に影響が及んでいる。一方で、伝統的な「和食」が世界遺産として認定され、学校教育においても、地域の食材を生かした「食育」が重要視され、実施されている。

本シンポジウムでは、持続的な干し柿生産をめざして、今日における課題を、各方面から話題提供して頂き、討議した結果を、生産者、地域行政、流通業者、消費者に届けることを目的とする。

干し柿生産の継承、柿の多様な活用、地域おこし、温暖化対策

タイムスケジュール:

10:30~

開会宣言 相本芳彦 (フリーアナウンサー シンポジウム全体の司会進行を務めます)

開会挨拶 高井芳樹 (実行委員会 タイワ精機(株)会長)

来賓あいさつ

シンポジウムの趣旨と進行について 林 節男 (実行委員会 元富山県立大学短大部)

11:00~12:30

セッション1: 干し柿生産の現状と継承および気候への対応

◎仲筋英生 (富山干し柿出荷組合連合会会長) 題目「富山の干し柿生産に50年余り関わって」

原 敏雄 (兼八産業(株)会長) 題目「全国各地の干し柿生産地に機械を届けて」

岡田 宗 (気象情報通信(株)調査役 気象予報士) 題目「温暖化傾向と晩秋の気候」

金山正尚 (南砺市土生新 干し柿生産者) 題目「天日と医王おろしを活用した干し柿作り」

窪田謙治 (南砺市高宮 干し柿指導者)、福光東部・南部小学校の教諭・児童

題目「20年間余り、児童たちに干し柿生産を伝え、児童たちが学んだこと」

林 節男 (元富山県立大学短大部) 題目「日本と東アジアの気象条件と干し柿生産を調査・視察して」

質疑応答

12:40~13:30 **昼食+交流** (弁当の注文は、下記の林まで。)

13:40~15:00

セッション2: となみ野の人と自然と生業

◎勝野那嘉子 (岐阜大学助教, 美味技術学会員) 題目「干し柿の成分変化と美味しさ」

天野一男 (砺波カイニョ倶楽部事務局長) 題目「散居村の人、景観、資源」

太田浩史 (南砺市大窪 大福寺住職) 題目「福島県南相馬の天保飢饉を救った富山柿 -文書報告-」

大浦栄次 (富山県農村医学研究所) 題目「干し柿生産作業における事故とその対策」

質疑応答

15:20~16:30

セッション3: 地域おこしと柿の多様な活用における

◎今井敬潤 (岐阜女子大学非常勤講師) 題目「柿の栄養成分と柿渋などの多面的な利用」

坂井智子 (南砺市大塚 ログハウズ) 題目「若手女性のコラボによる干し柿チョコレート作り」

山本誠一 (南砺市野口 薪の音代表) 題目「干し柿を2次加工してアイスクリーム、高級和菓子へ」

林 節男 (元富山県立大学短大部) 題目「柿渋染めの試行と可能性」実物とポスターの掲示

質疑応答

16:40~17:00 まとめと閉会挨拶 仲筋英生 (実行委員会 富山干し柿出荷組合連合会会長)

17:30~ **夕食交流会** (会場近くの「農家レストラン」「あずま立ちの家屋で伝統料理」定員40名, 参加費 3,000円)

干し柿の図書販売: 美味技術学会選書⑩ 林 節男著「美味な干し柿生産とその事例」 1,000円+税

昼食(800円)の注文、および夕食交流会への参加については、下記の林までお問い合わせください。

参加申込・問合せ先: 実行委員会 (林 節男, sehaya2529@yahoo.co.jp)

〒939-0341 富山県射水市三ヶ 2529-1 携帯 080 3743 9750, FAX 0766 56 4810)